

令和7年8月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年8月4日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 渋川市選挙管理委員会が市内の高校生とともに渋川市長選挙に向けた街頭啓発を実施します(資料1)
- 2 地域おこし協力隊の活動活性化につなげるため
「渋川市地域おこし協力隊セミナー」を開催します(資料2)
- 3 渋川市美術館企画展「美術館で街づくりマチアソビ2025」を開催します
(資料3)

その他資料提供

- ・しぶかわ推し第1弾(料理・菓子)で新たに2品が認定されました(資料4)

○次回開催予定

日時：令和7年8月8日(金) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
8月4日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	14:30	フォローアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
8月5日(火)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
	13:30	渋川市まち・ひと・しごと創生検討会議	市役所本庁舎	政策戦略課
8月6日(水)	13:15	渋川市健康づくり推進協議会	市役所第二庁舎	健康増進課
8月7日(木)	11:00	渋川市地区赤十字有功会総会	市役所本庁舎	地域包括ケア課
8月8日(金)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	11:00	渋川山車まつり前夜祭	中央公民館	観光課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
8月9日(土)	17:00	渋川山車まつり八幡上り出発式	国土交通省前交差点	観光課
8月10日(日)	15:00	渋川山車まつり八坂神社祭礼式典	四ツ角交差点	観光課
	17:00	渋川山車まつり解散式	新町五差路	観光課
8月11日(月)				
8月12日(火)				

渋川市選挙管理委員会が市内の高校生とともに 渋川市長選挙に向けた街頭啓発を実施します

渋川市選挙管理委員会は、8月31日(日)執行予定の渋川市長選挙に向けた啓発活動として、渋川市内の高等学校と連携し、街頭啓発活動を実施します。

渋川駅前広場において、市内の高校に通う生徒と選挙管理委員が、市長選挙について啓発物品を配布しながら周知することで、投票参加につなげようとするものです。なお、高校生とともに行う街頭啓発活動は初めての試みです。

1 概 要

国、地域で行われる選挙において、投票率の低下は全国的な問題であり、渋川市においても同様の状況にあります。また、他の年代と比べて若年層の投票率は、より低い水準にあります。

選挙権の行使は、民主主義の基盤であることから、投票率の向上が望まれており、特に若年層への選挙啓発や主権者教育への取り組みが重要であると考えています。

このような背景から、渋川市選挙管理委員会は、選挙啓発事業の一環として、選挙権を有して間もない、また、近い将来選挙権を有することになる高校生とともに渋川駅前広場での街頭啓発活動を行います。渋川駅等を利用する人たちに市長選挙を知ってもらい、選挙への関心を高め、投票所に足を運んでもらおうとするものです。

2 日 時 令和7年8月25日(月) 午後5時30分～午後7時
※啓発物品が終了した場合には、その時点で終了とします

3 場 所 渋川駅前広場

4 内 容

渋川駅、渋川駅前広場を利用する人たちへの投票参加への呼びかけと啓発物品（ウエットティッシュ500セット）の配布

5 参 加 者

渋川市内高等学校生徒（10人）及び渋川市選挙管理委員（4人）

※高校生の内訳：渋川女子高等学校（6人）

渋川青翠高等学校（2人）

渋川工業高等学校（2人）

6 そ の 他

渋川市選挙管理委員会では、令和6年度に、選挙に関するアンケートを実施しました。

アンケートの回答者からは、投票率向上に有効な取り組みとして、家庭や学校で子どもの頃から選挙の大切さを教える必要性についての意見をいただいています。

今回の取り組みは、まさに、これからの世代である高校生とともに街頭啓発活動を行うものです。高校生本人、その家族、周りの友人などの投票への関心を高め、選挙を身近に感じられる効果を期待しています。

参考

1 投票率の推移

(単位：%)

年月日	選挙	投票率	18歳	19歳	12市 平均	県 平均
R 3. 8. 29	市長選	45.81	39.47	36.91	—	—
R 3. 8. 29	市議補選	45.76	—	—	—	—
R 3. 10. 31	衆院選(小選挙区・1区)	50.26	40.88	28.15	52.92	53.89
R 3. 10. 31	衆院選(小選挙区・5区)	48.99				
R 4. 7. 10	参院選(選挙区)	46.09	36.77	27.24	47.41	48.49
R 5. 2. 5	市議選	50.26	41.55	28.33	—	—
R 5. 4. 9	県議選	無投票			39.18	39.51
R 5. 7. 23	知事選	31.39	24.54	12.82	28.26	29.65
R 6. 10. 27	衆院選(小選挙区・統合)	48.34	46.98	26.88	48.94	49.92
R 7. 7. 20	参院選(選挙区)	52.41	未集計	未集計	54.48	55.12

2 県内他市における高校生等の若年層と連携した啓発活動について

- ・前橋市：大学生と街頭啓発を実施
- ・沼田市：高校生による選挙広報車両の啓発音声テープの作成
- ・館林市：期日前投票所において高校生が投票呼びかけ

■問い合わせ先

渋川市選挙管理委員会

書記長(総務部長) 星野 幸也(内線2100)

担当：事務局(総務課内)(電話0279-22-2112)

書記次長(課長) 藤井 成行(内線2110)

書記(総務係長) 樋口 孝行(内線4212)

資料2

地域おこし協力隊の活動活性化につなげるため 「渋川市地域おこし協力隊セミナー」を開催します

渋川市内で活動する地域おこし協力隊員が、地域住民や関係者と良好な関係を築きながら、思いどおりの活動を行ってもらうことを目的に、地域おこし協力隊経験者を講師に招き、隊員向けのセミナーを開催します。
渋川市の隊員向けに行うセミナーは、今回が初めての開催となります。

1 目 的

渋川市では、平成30年6月に観光振興分野で地域おこし協力隊を受け入れたのを皮切りに、地場産業（創作こけし）や空き家利活用推進、インバウンド観光振興、渋川まちづくりプロモーターなど、様々な分野で地域おこし協力隊を受け入れてきました。

令和7年7月末現在、インバウンド観光振興分野で2人、地場産業（創作こけし）分野で2人、渋川まちづくりプロモーター分野で1人、合計5人の隊員が市内で活動を行っています。

渋川市で活動する隊員が、地域住民や関係者と良好な関係性を築きながら、地域に定着して思いどおりの活動を行うためには、地域おこし協力隊経験者による助言や支援が非常に有効です。そこで、群馬県地域おこし協力隊アドバイザーを講師に招き、渋川市で活動する隊員向けのセミナーを開催することにより、隊員の活動活性化を図ります。

2 日 時 令和7年8月22日（金） 午後3時30分～5時

3 会 場 渋川市役所第二庁舎 207会議室

4 内 容

- （1）地域おこし協力隊としての基本的な心構えについて
- （2）3年間で理想的な活動を行うための心がけについて
- （3）想定される課題と乗り越え方について
- （4）活動における悩み事や不明点についての共有・相談 など

5 講 師

群馬県地域おこし協力隊アドバイザー 岩崎 大輔 氏

【経歴】NPO法人ぐんま地域おこし協力隊ネットワーク理事長（令和4年6月～）
桐生市地域おこし協力隊（令和元年10月～令和4年9月）
熊本県宇城市出身

6 参 加 者

- | | |
|----------|-------------------------------|
| ・ 胡 玄 燁 | 隊員〔インバウンド観光振興〕（令和6年10月1日着任） |
| ・ 小川 廣 大 | 隊員〔地場産業（創作こけし）〕（令和7年4月1日着任） |
| ・ 平野 風 紗 | 隊員〔地場産業（創作こけし）〕（令和7年4月1日着任） |
| ・ 広井 沙 希 | 隊員〔渋川まちづくりプロモーター〕（令和7年5月1日着任） |
| ・ 藤田 雅 美 | 隊員〔インバウンド観光振興〕（令和7年7月1日着任） |

7 その他

- (1) 渋川市の地域おこし協力隊員向けセミナーは、隊員からの要望や活動状況などに応じ、今後も継続的に実施していく予定です。
- (2) 渋川市では、地域おこし協力隊員の活動場所や活動形態がそれぞれ異なることから、隊員の孤立を防ぎ、活動分野を超えた隊員同士の連携を促すことを目的に、全ての隊員が定期的集まる「渋川市地域おこし協力隊ミーティング」を令和7年7月から開催しています。今回開催するセミナーは、第2回渋川市地域おこし協力隊ミーティングと兼ねて開催します。

参考

地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した人を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱するものです。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

全国では令和6年度末現在、1,176団体において7,910人、県内では令和7年4月1日現在、25市町村において161人の協力隊が活動しています。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

渋川市美術館企画展「美術館で街づくりマチアソビ2025」を開催します

8月9日(土)から31日(日)まで、渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館で、企画展「美術館で街づくりマチアソビ2025」を開催します。

この企画展では、8月3日に開催した、子ども向けワークショップ「段ボールで美術館に街をつくろう！」で制作した作品およそ50点を展示します。

子どもたちの豊かな想像力が生み出した「街」の表現をお楽しみください。

1 目 的

渋川市美術館は、教育普及活動として、美術への興味や豊かな想像力を育成することを目的に、定期的にワークショップを開催しています。特に、夏季のワークショップは、子どもたちの夏休みに合わせて、子ども向けの事業を毎年実施しています。

今年度の子ども向けワークショップは、群馬県立女子大学の奥西麻由子准教授を講師に迎え、8月3日に「段ボールで美術館に街をつくろう！」を開催しました。参加した子どもたちは、それぞれが考えた、街の中にあるもの（家やお店、車など）を段ボールで制作しました。

今回の企画展は、ワークショップで制作した作品を集めて、美術館の中に「街」を表現しました。子どもたちの豊かな想像力が生み出した街をお楽しみいただきます。

また、来館者が楽しめる企画として、絵本コーナーを設置します。さらに、来館者に型紙を配布して、住民や動物などの「街のみんな」を作ってもらい、「街」の中に自由に飾ってもらう体験コーナーも設置し、子どもから大人まで美術や制作を楽しむ機会を提供します。

2 開催期間 令和7年8月9日(土)～31日(日) 午前10時～午後5時
※毎週火曜日（祝日の場合は翌日）の美術館休館日を除く

3 会 場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室
(渋川市石原6-1・渋川市役所第二庁舎1階)

4 観 覧 料 無料

5 内 容

(1) 展示コーナー

ワークショップで子どもたちが制作した立体作品を街に見立て、企画展示室に展示します。

(2) 絵本コーナー

美術館所蔵の図書から、美術にまつわる絵本を閲覧できるコーナーを設置します。

(3) 体験コーナー

型紙を配布し、「街のみんな」を作るブースを設置します。作った住民や動物などは、「街」の中に自由に展示してもらいます。

参考

令和7年度企画展等の開催状況

1 企画展「渋川市手わざの美と心展」

- (1) 開催期間 令和7年4月25日(金)～6月1日(日)
- (2) 会場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室
- (3) 内容 渋川市の暮らしの中から生まれた作品を展示
- (4) 来館者数 667人

2 共催展「第22回渋川市民美術展」

- (1) 開催期間 令和7年6月13日(金)～29日(日)
- (2) 会場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室
- (3) 内容 市内在住者等が制作した作品を展示
- (4) 来館者数 735人

3 企画展「村上鳳湖・瀧沢巨森展～懐かしさの風景～」

- (1) 開催期間 令和7年7月7日(月)～27日(日)
- (2) 会場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室
- (3) 内容 かつて在った懐かしい風景を展示
- (4) 来館者数 394人

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟 (内線4930)

担当：美術館 (電話0279-25-3215)

館長 山賀 真奈美 (内線4936)

管理学芸係長 川野 篤志 (内線4937)

渋川市美術館 企画展

観覧料
無料

街づくり



マチアソビ 2025

美術館
で

2025 8/9 (sat) ▶ 8/31 (sun)

子ども
向け
8/3 (sun)

ワークショップ

詳細はこちら

申込期間
7月19日
▶ 7月31日



「段ボールで美術館に街をつくらう！」 制作作品展示



※昨年の
展示の様子

絵本コーナー

美術や美術館のお話など、
絵本から美術を楽しんでみ
ましょう。



体験コーナー



※街のみんな
イメージ



街のみんな を作ってみよう

展示期間中ご来館された方に型紙をプレゼント！
自由に着色して、街にくらす人、いきものを作っ
てみよう。作った作品は街に飾っていただきます。
(無料・申込不要)



つながりひろがる あおぞら美術館
渋川市美術館
桑原巨守彫刻美術館

主催：渋川市教育委員会（教育部美術館）

渋川市役所第二庁舎 1 階西 企画展示室
10:00～17:00（入場は 16:30 まで）火曜休館
群馬県渋川市石原 6-1 0279-25-3215

協力：群馬県立女子大学 文学部 美学美術史学科 奥西ゼミ



資料4

しぶかわ推し第1弾（料理・菓子）で 新たに2品が認定されました

渋川市は、「これぞ渋川」と市内外に自慢できるモノを「しぶかわ推し」として認定しており、現在、第1弾（料理・菓子）を募集しています。

この度、SNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、新たに2品が「しぶかわ推し」として認定されました。

今回の認定を含めて、21品が「しぶかわ推し」として認定されています。

1 概 要

渋川市は、市内にある地域資源や飲食物等の魅力を、シビックプライド及びシティブランドとして醸成し、市のプロモーションでの活用及び地域経済の活性化につなげるため、市内の魅力あるものを募集し、「しぶかわ推し」として認定しています。

現在、第1弾として（料理・菓子）を募集しており、令和7年7月28日現在で「しぶかわ推し」候補として42品の応募がありました。これまでに、そのうちの19品が「しぶかわ推し」として認定されています。この度、新たに2品がSNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、「しぶかわ推し」として認定されました。

今後、認証された「しぶかわ推し」を、市公式Instagramへ投稿したり、市公式YouTubeで配信したりするなど、「市民が薦める市の宝」としてPRし、市の魅力度向上と地域経済の活性化につなげていきます。

2 新たな「しぶかわ推し（7月18日認定）」

グリーンカレー (レモングラス・石原)	鮎塩焼き (落合築・北橋町八崎)
	

3 「しぶかわ推し候補」と「しぶかわ推し」の違い

(1) しぶかわ推し候補

- ①市公式ホームページに「しぶかわ推し候補」として紹介
- ②市公式LINEのLINE VOOM投稿に掲載

(2) しぶかわ推し

- ①市公式ホームページの「しぶかわ推し」一覧紹介ページに掲載
- ②市公式LINEのLINE VOOM投稿のデータを「候補」から「しぶかわ推し」に変更
- ③市公式Instagramに投稿
- ④市公式YouTube「渋川市公式チャンネル」で動画を紹介
- ⑤しぶかわ推し認定証の授与
- ⑥しぶかわ推しロゴマーク（現在募集中）の使用

参考

しぶかわ推し（第1弾（料理・菓子））の候補・認定数（令和7年7月28日現在）
応募42品（うち認定21品、候補21品）

【これまでの認定品】

- ①ホルモン丼（（有）マルフクストアー）
- ②台湾まぜそば（earth cafe）
- ③伊香保プリン（プリン専門店クレヨン伊香保ファクトリー）
- ④ソースカツ丼弁当（ニコニコ亭）
- ⑤伊香保プレミアム（プリン専門店クレヨン伊香保ファクトリー）
- ⑥鮎セット（湯元茶屋）
- ⑦今川焼・うす皮極盛あんこ（かんたろう渋谷）
- ⑧今川焼・お好み焼き風（かんたろう渋谷）
- ⑨MowMow焼き（抹茶生地カスタード）（伊香保グリーン牧場）
- ⑩ワンプレート赤城牛ハンバーグ（Cafe&DiningBar Vingtie）
- ⑪ぷるりん（ぷるりんカフェ）
- ⑫赤城田舎まんじゅう（荒井商店）
- ⑬こんにゃくから揚げ（グルメ亭）
- ⑭カボチャのクリームソースオムライス（Lita blanc）
- ⑮とんかつ定食Bランチ（渋谷食堂）
- ⑯たつま定食（お食事処辰磨）
- ⑰ピーチメルバ（レストランるるど）
- ⑱プレミアムビーフシチュー（レストランるるど）
- ⑲イカ餃子（らーめんはんぐりー）

※しぶかわ推しのホームページはこちらから▶



■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 坂本 和馬（内線2416）